



羽田空港

WEATHER TOPICS



定期号

通巻 第 23 号

2012 年 (平成 24 年)

8 月 28 日

発行

東京航空地方気象台

台風と気象情報

1 台風の特徴

熱帯の海上で発生する低気圧を熱帯低気圧といい、そのうち北西太平洋周辺に存在し、最大風速が34kt以上のものを台風とよびます。台風は高水温の海面から熱と水蒸気を補給することで発達します。台風の勢力は、目安として中心付近の最大風速や強風域の半径により階級分け（第1表）されています。台風は巨大な空気の渦巻きで、中心に向かって反時計回りに強い風が吹き込み、台風を移動させる空気の流れと一致するため、進行方向左半円より右半円では風が強くなります。なお、個々の台風ではその時の台風や周辺の気圧配置の状況などによって風の強い領域は大きく異なりますので注意が必要です。

また、台風は暖かく湿った空気を持ち込むため、接近時はもちろん、日本付近に前線が停滞しているとその湿った空気が前線の活動を活性化させ、大雨となることがあります。

第1表 台風の強さと大きさの階級

強さの階級分け	
階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上
大きさの階級分け	
階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

2 台風接近時の気象情報

気象台では、台風の接近で空港に影響が予想される場合は、次のような気象情報を発表し注意警戒を呼びかけます。

「台風に関するお知らせ」は、主に台風の状況や進路予想に関する事項をお知らせし、平均風速が概ね25ktを超えると予想されるときは3～12時間ごとに、平均風速が概ね34ktを超えると予想されるときは1～6時間ごとに発表します。

「台風説明会」は、防災機関や航空会社、航空局等の関係者が行う防災対応を支援するために開催し、台風による影響の度合いや、悪天が予想される時間などを解説します。

「台風に関する飛行場気象情報」は、24時間以内に強風や暴風の警報となることが予想される場合に予告的情報として発表します。

「飛行場警報」(第2表)は、暴風、大雨、高潮などにより、停留中の航空機を含む地上の航空機、及び飛行場の施設や業務に重大な影響が及ぶと予想される場合に発表します。

第2表 東京国際空港における飛行場警報とその基準（一覧表）

警報の種類	基準
飛行場強風警報	10 分間平均風速 34kt 以上 48kt 未満 の風速が予想される場合
飛行場暴風警報	10 分間平均風速 48kt 以上 の風速が予想される場合 (熱帯低気圧により 10 分間平均風速 64kt 以上 の風速が予想される場合を除く)
飛行場台風警報	熱帯低気圧により 10 分間平均風速 64kt 以上 の風速が予想される場合
飛行場大雨警報	大雨によって重大な災害が起こる可能性があるとして予想される場合 1 時間 40mm 以上 3 時間 70mm 以上
飛行場大雪警報	大雪によって重大な災害が起こる可能性があるとして予想される場合 6 時間降雪の深さ 5cm 以上
飛行場高潮警報	高潮によって重大な災害が起こる可能性があるとして予想される場合 潮位 東京湾平均海面上 3m 以上

3 台風第15号による気象情報等の発表事例

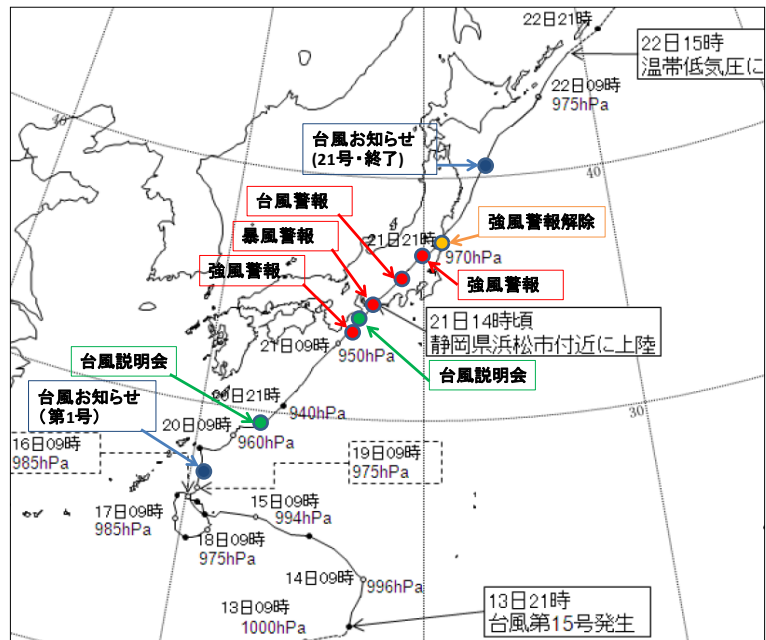
昨年9月に東日本を北上した台風第15号（第1図）は、羽田空港で航空機の欠航400便以上・遅延150便以上や、空港施設への雨水進入や壁材落下などの影響をもたらし、最大風速は滑走路16Lで 190° 57kt、滑走路23で190° 62ktを観測しました。

この時の気象台の対応について、以下に紹介します。

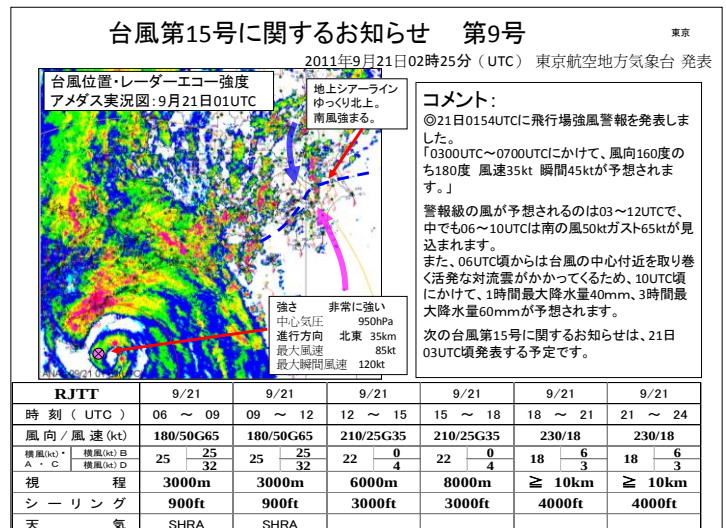
「台風第15号に関するお知らせ」は、台風が接近する2日前の19日朝に第1号を発表し、台風が南大東島の北西の海上にあって、東日本へ接近するおそれがあることをお知らせしました。その後は台風の接近状況にあわせ、20日朝からは6時間ごとに、20日夜からは3時間ごとに、21日朝からは1時間ごとに発表して、台風の状況や進路予想、羽田への最接近の時間帯や気象状況の予測を示し（第2図）、注意警戒を呼びかけました。21日夜には影響がなくなり「お知らせ」は第21号で終了しました。

「台風説明会」の開催は、台風が接近する前日の20日14時と、当日の21日11時に行い、上陸の可能性や悪天の見通しについて解説しました。

「台風に関する飛行場気象情報」は、第1号を20日18時23分（0923UTC）に発表し、24時間以内に強風や暴風の警報となる予想であることをお知らせし、その後第3号まで発表しています。



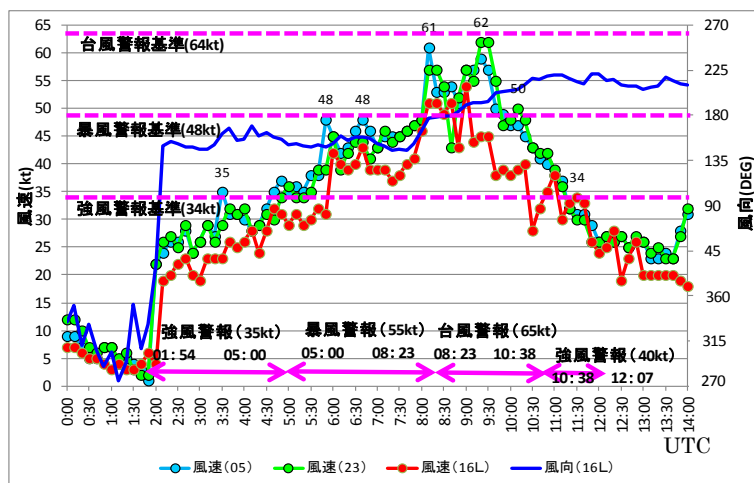
第1図 台風15号経路と情報発表時期



第2図 台風に関するお知らせ

「飛行場警報」の発表状況（第3図）は、台風が紀伊半島付近に接近した時間帯の21日10時54分（0154UTC）に強風警報を、浜松市付近に上陸した時間帯の21日14時（0500UTC）に暴風警報を、羽田空港へ最接近した時間帯の21日17時23分（0823UTC）に台風警報を発表しました。

その後、台風は次第に遠ざかり21日19時35分（1035UTC）には強風警報に切替え、21日21時07分（1207UTC）に警報を解除しました。



第3図 羽田の風速時系列と警報発表の状況
9月21日0000UTC～1400UTC
(日本時間 09時～23時)

4 まとめ

気象台では、台風の接近により気象情報を適切な時期に発表するよう努め、最接近の時間帯や影響する気象状況の予測を示し、注意警戒を呼びかけています。

これらの気象情報は、航空気象情報提供システム（MetAir）で確認することができ、台風の状況や進路予報は気象庁ホームページでもご覧いただけますので、最新の情報を入手し事前の対策等に利用してください。

(東京航空地方気象台 予報課)

航空気象観測月表

官署名 東京航空地方気象台

地点略号 RJTT

2012 年 07 月

日/要素	平均気圧		気温			相対湿度		最大風速		最大瞬間風速		降水量			降雪の 深さの 合計 cm	積雪の 深さ 09h cm		大気現象
	飛行場 現地 ×0.1hPa	海面 ×0.1hPa	平均 ×0.1℃	最高 ×0.1℃	最低 ×0.1℃	平均 %	最小 %	風向 36 方位	風速 kt	風向 36 方位	風速 kt	合計 ×0.1mm	最大 1時間 ×0.1mm	最大 10分間 ×0.1mm				
1	10076	10086	212	241	195	77	60	50	12	180	15	65	30	10			☁☼☾☾	

上旬	10037	10048	234	269	209	82						720					
中旬	10084	10094	262	296	236	79						320					
下旬	10106	10117	265	299	236	78						70					
月	10077	10087	254	288	227	80						1110					
極值				348	175		42	190	29	200	39	280	130	40			
起日				26	21		26		14		14	3	7	7			

気温 日数 °C							最大風速階級別日数 kt				日降水量階級別日数 mm								降雪の深さの日合計階級別日数 cm					
日最低 <0.0	日平均 <0.0	日最高 <0.0	日最低 >=25.0	日平均 >=25.0	日最高 >=25.0	日最高 >=30.0	>=20	>=30	>=40	>=50	>=0.0	>=1.0	>=5.0	>=10.0	>=30.0	>=50.0	>=70.0	>=100.0	>=0	>=5	>=10	>=20	>=50	>=100
0	0	0	8	19	25	14	10	0	0	0	20	10	8	3	0	0	0	0						

日最深積雪階級別 日数 cm							視程継続時間 分			RVR継続時間 分						最低雲高継続時間 分						大気現象出現日数		
>=0	>=5	>=10	>=20	>=50	>=100	>=200	m <5000	m <3200	m <1600	m <1600	m <800	m <600	m <400	m <200	m <100	ft <1500	ft <1000	ft <500	ft <300	ft <200	ft <100	雷	霧	雪
							2128	492	28	58	0	0	0	0	0	4812	1724	35	0	0	0	2	0	0

特記事項